

【刊夕】日八月一十



定価 一紙五錢 一月一元二角 半年六元 一年十元
電話 三三六番 郵政 五三三番
印刷 日刊 社 磐石新聞社
発行 日刊 社 磐石新聞社
編集 日刊 社 磐石新聞社
印刷 日刊 社 磐石新聞社
電話 三三六番 郵政 五三三番

日にたつてメツキリ

ふえた行商 一錢二錢で白米迄も 農村不況の一断面を

吹き捲くる不景氣風は各家庭の經濟生活を極度に切り詰めた。その結果は商人は儲けを最少限度に見積り、或ひはどん／＼から損をしてまでも資本の回収をなさなければならなくなつた。平町内の各商店に於ても種々なる趣向を凝らして顧客吸引に物狂はしい競争を續けてゐるが殊に目に立つのは行商のめつきり殖えたことである。種類も現在餘り見られないものも多く現れて來た、中でも注目すべきは白米の行商である、いかに不景氣でも飯は食はなければならぬ、そして一俵二俵と俵で買ふことの出來ない細民にはいやでも應でも米屋の手から一錢乃至二錢の手數料と利潤とを合

農家 合理化 實行組合が 既に三百餘

極度の疲弊にあへいである石城郡下の農村ではこれが切り抜け策として部落毎に農村經營の實行規約を作り

組合を設け既に三百餘の組合が生れた、この組合は組員が耕作に必要な肥料等を

一まとめにして購入配給しまたは共同耕作等で極力農家の經濟合理化をはかり、負擔の軽減をはかる意氣込みで各組合とも殊に二毛作の實施を率先して行つてゐる。

柿の木が丸ハダになる 落葉病の被害 豫防の注意

今年柿の當り年で非常に増収を見たが郡下一般に互り落葉病及落果病蔓延し被害甚くないのでこのほど縣農事試験場伊藤技師が各地に出張豫防並に根絶について指示注意するところあつたが中には數十本の柿の木がために丸裸になつたやうな悲惨な處もあつたといふ、同病は柿の樹に潜入し一ヶ月乃至四ヶ月経ないと發病しないので豫防困難だが胞子となつて落葉に附着して落るのでこの落葉を集め焼却すれば根絶し得ると

東部電力の 瓦斯部獨立 事務所を新設

東部電力平營業所では今回瓦斯部を獨立せしむる事となり、新たに事務所を新設技師加藤廣助氏が部長として近く來任多いに業務の刷新を圖ると。

處罰に出づ 平稅務署で 競賣を執行

平町の縣稅務出張所では郡下の極端なる納稅不成績に鑑みこの際斷然たる處置に出づる事となり先づ平町より行ふ可く滞納者に對し來る十日までに完納せねば直に競賣を執行するとの嚴達

農村は赤ン坊迄 一二圓づゝの借金 土地や建物を抵當の 金融狀況を調査

平稅務署では昨年十月以降今年十月まで一ヶ年間石城郡下各方面で土地建物等を抵當にして行はれた金融狀況を調査中であるがこれによると大體四十六萬餘圓に達し郡民約十六萬人に割當るとタツタ今生れた赤ン坊から棺桶に片足を入れたやうな老人まで一人當り約三圓づゝの借金をした事となる、此の大半は農村で行

惡周旋屋 入獄中に發覺

平町字田町人事周旋屋山口都四郎(四七)目下平町刑務署に懲役六ヶ月に處せられ服役中であるが今回更に郡山市堂の前料理店山口熊次郎方で大沼郡川口村山某の娘を酌婦に賣飛ばし前借金を欺取した外數件の餘罪が發覺被害額も相當なので六日平署では關係警察署に照會又また取調を開始した。

警中に賊 現金を盗む

住所不定無職竹田勝太郎(一八)假名は去る三日警城中學校に忍び入り現金五圓を窃盜又七日には平町伊關吳服店々頭より自轉車一臺價格八

拘留處分が 四十三名

既報先般平署が非常召集を執行して告發した密淫賣の酌婦卅一名及び營業者十二名は夫々拘留處分に附されたが平署の留置場のみにては收容しきれず大型乗合自動車に乗せて本日平町刑務所に護送した。

喜の字講習會 平町 琴曲師匠鈴木喜勇師門下 より成る喜の字會第二回講 習會は十四日午後四時から 日本基督教會堂に開かれる

山上で記念式 石城郡内郷村磐城炭礦青年團二百餘名は九日午前八時から湯の嶽に登山頂上において發團三週年記念式を行ふ。

漬物の講習會 石城 郡小名濱町農會にては廿四 日から四日間農林省囑託武 田數代氏を招き漬物講習會 を開くと。

浪曲日一本の

偽者ない本者
現 吉田奈良丸 師 一行
愈々九日初日
◎尚一行乗込の際は花火二發打揚、開場の時午後四時に花火二發打揚
◇前賣特等券切ならぬ内早く御買求願ます
聚樂館

告謹

永らく藤市蒲鉾店に務めて居りましたが今度魚清水室隣りに右の營業を開店しました。充分に勉強する積りですから何卒御最負の程幾重にもお願申上ます。

うむどん
そ ば 金 五 錢
なべやき 金 十 二 錢
親子天井 金 二 十 錢
◇其他御望みに依り調理致します
平町二丁目 藤 よ し

加藤 宇之吉
呼出三〇五番

正確+メガネ
無料検眼
各眼科院御用
町番七〇六部

乗用自動車貸切賃金表(平町基點)

市内	湯本	植田	田方	方面
鐵道以南 鐵道以北 市內往復	小島 御殿 綴本 宮本 湯本 湯谷 湯長 湯邊	田邊 泉邊 泉邊 泉邊 泉邊	植田 植田 植田 植田 植田	勿來 久來 久來 久來 久來
四七〇 五七〇 一〇〇〇	一七〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇	三〇〇 三〇〇 三〇〇 三〇〇 三〇〇	四〇〇 四〇〇 四〇〇 四〇〇 四〇〇	六五〇 六五〇 六五〇 六五〇 六五〇
江名	小名	方面	方面	方面
中久山 上高久 下高久 沼ノ内 江名及 中ノ作	湯本 鹿島 鹿島 鹿島 鹿島 鹿島 鹿島 鹿島	草野 草野 草野 草野 草野 草野 草野 草野	新野 新野 新野 新野 新野 新野 新野 新野	夏野 夏野 夏野 夏野 夏野 夏野 夏野 夏野
一五〇 一五〇 一五〇 一五〇 一五〇 一五〇 一五〇 一五〇	二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇	一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇	一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇	二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇
小川	方面	方面	方面	方面
曲田 下小川 野村入口 關野 小川郷 福島炭礦 片石田 江田 川前	赤井 赤井 赤井 赤井 赤井 赤井 赤井 赤井	下好間 中好間 元好間 成好間 合成好間 合好間 合好間 合好間	元好間 成好間 合成好間 合成好間 合成好間 合成好間 合成好間 合成好間	澤渡 澤渡 澤渡 澤渡 澤渡 澤渡 澤渡 澤渡
一七〇 一七〇 一七〇 一七〇 一七〇 一七〇 一七〇 一七〇	一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇	一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇	一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇	一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇

一、右賃金ハ五人乗車ノ賃金トス
二、往復ノ場合ハ右賃金ニ壹圓増トス
三、客待一時間壹圓トス
四、一日貸切(十時間)金拾五圓トス
五、半日(五時間)金八圓トス
六、以上ノ料金ニ違反シタル時ハ臨時區間外ノ運轉停止セラルルコトアルベシ
昭和五年拾壹月六日
福島縣自動車協會平支部

外科専門

木村外科醫院

入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
平町田町 電話五二三番

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

内科・小兒科・花柳病科

藤沼醫院

入院需應
平町紺屋町
電話長平五〇七番

秋とサロンの黒ビール

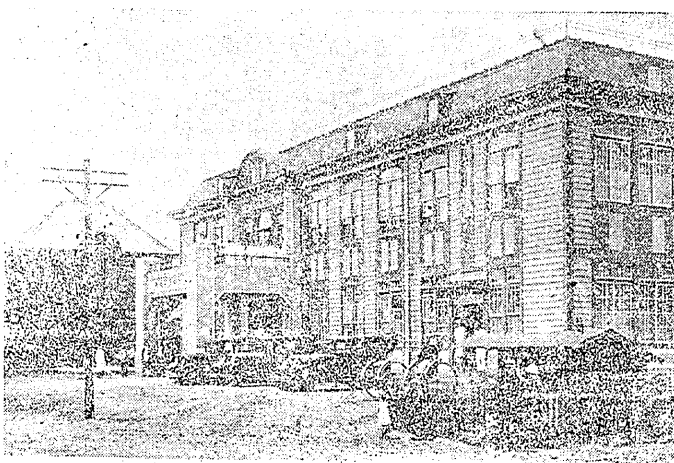
天高く 氣朗かに 美味芳醇の
サロンの黒ビールを召せ
ンロサ
番二五三電・町田

磐城共濟病院案内

本病院は時局に鑑み八月一日より入院料並に往診料左の通り低減致候間御参考迄申上候

入院料...一日(一般)金貳圓也
本院會員 金壹圓五拾錢
往診料...本院及其他(一般)金參圓也
本院會員 金貳圓也
(平町内)

尙地方往診も之に準じ低減致候間此段申添候



(各科専門) 醫擔當
内科 小兒科
外科 皮膚泌尿科 整形外科 內臟外科
產婦人科 女子泌尿科
耳鼻咽喉科
×光線科
物理學的診療科

共濟病院内

院長 醫學博士 難波 忠治
本院主 菅賀 澤 忠治
一、衛生試驗所
二、病氣相談所
三、救療所
◎救療申込る方は當相談所へ御話し下さい
昭和五年九月

磐城共濟會

看護婦募集

平町 電話六四一番